

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京法律公務員専門学校名古屋校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和4年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和5年度 学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

奥村哲也氏 清須市建設部上下水道課
松木政憲氏 防衛省自衛隊愛知地方協力本部名古屋出張所 所長 一等陸尉

<事務局>

田中壮 東京法律公務員専門学校名古屋校 校長
澁澤太一 東京法律公務員専門学校名古屋校 教務部課長
貝田充郎 東京法律公務員専門学校名古屋校 教務部課長
島田圭一郎 東京法律公務員専門学校名古屋校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか 教育基本法に則り、学校教育法に従い、人格の陶冶と法律、行政及びビジネスに関する正しい知識を身につけ、日本経済の発展に貢献出来る人材の育成を目的とする。</p> <p>ロ. 学校教育における職業教育の特色は何か 国家公務員・地方公務員の行政職、及び警察官・消防官・自衛官などの公安職に毎年採用されていること、また、民間企業就職内定率が高いことである。これは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが非常に大きい。今年度はコロナ禍も和らいできたこともあり、「ゼミ学習」を従来と近い形で行い、高い合格実績をあげることができた。</p> <p>ハ. 教育理念、目的、育成人材、特色が学生や保護者などに周知されているか 学園の基本目標として、「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって目標達成に取り組んで</p>

	<p>いる。これら理念・目的・育成人材像、そして「ゼミ学習」による授業運営については教職員に周知徹底し、また、入学希望者にはオープンキャンパス等で説明している。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は業界ニーズに向けられているか</p> <p>本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によって、各学科の目標とする国家試験や検定試験、公務員採用試験等に高い合格実績をあげることができている。また、年2回開催する官公庁説明会や教育課程編成委員会を通じて業界の方々からの意見を取り入れてカリキュラム編成を行っている。本年度は、コロナ禍にあったが感染症対策を施した上で対面授業を行い、例年通りのカリキュラムを維持した。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) コロナ禍以降、オンライン授業のほかに導入していることはあるか。 【回答】 LMS(学習管理システム)を導入し、学生の学習環境を整えている。今後の課題は、LMS教材の充実化、より使いやすくすることである。</p> <p>(2) 基本目標が受付や教務室・事務室など、目に届きやすいところに掲示してあるため、教職員の目標達成に対する意識が向上しやすいと推察される。</p> <p>(3) 職場内では、多くの方とコミュニケーションをとるため、ゼミ学習を通して、積極性、協調性、主体性を身に付けることや伸ばすことができる点は非常に良い学習方法である。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目標に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としている。この基本目標をいかに達成するか、教務会議では頻繁に取り上げている。学園の基本目標は、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示している。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか</p> <p>運営組織図に従って運営されている。各部署の数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ. 人事制度や組織整備がなされているか</p> <p>採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。また、昇進制度や人事考課制度については年度ごとに見直しを図っている。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は管理職が行っている。学校間の調整は企画本部または学園協議会で行っている。理事会、学園協議会、責任者会議、課会議、公務員企画会議などの意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p>

	<p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開し、「速報」を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。また、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報にイニシャル・出身校名を載せており、志望者や保護者の判断にも役立つと思われる。</p> <p>へ. 情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システム、学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。また、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システム（入試システム、学籍管理システム）は仮想プライベートネットワーク（V P N網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>（1）情報データ管理・保全体制に関する教職員の教育はどのようなになっているのか。</p> <p>【回答】情報管理・保全に関しての教育は、マニュアルを使用し、管理意識を高めている。今後の課題は、教職員の情報リテラシーをさらに高め、情報に関する危機管理意識を高めることを目標としている。情報管理・保全に関する研修等も含め検討したい。</p> <p>（2）学園の基本目標を達成するために、教職員はどのような対応をしているか。</p> <p>【回答】学園の基本目標である「学生から信頼され支持される学校づくり」を達成するために、教職員が教室見学を頻繁に実施することで、他のクラスの学生に対してもコミュニケーションを図っている。また、職員会議でクラスの課題点や問題点を話し合い、職員全員で基本目標の達成に向けてクラス運営に取り組んでいる。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>カリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れており、知識のより確実な定着を図るだけでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も涵養し、社会のニーズに応じた人材育成を図っている。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>各学科の目標を明確にし、官公庁説明会および学内就職セミナーで、官公庁および企業の人事担当者から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材</p>

像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を含め多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。

ハ. 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか

各学科・コースのカリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において、各学科で目標とする公務員採用試験合格や資格取得のためのカリキュラムの定期的な見直しを行っている。

ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育の工夫・開発などが実施されているか

専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置している。

ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施し、授業運営の改善を図っている。

ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

成績評価・単位認定の基準を明確に定め、学則、専門課程便覧で学生にも周知徹底し、評価を厳正に行っている。

ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。また、試験終了後はカリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のための科目の適正な配置を行っている。

チ. 人材育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。上記の資質向上のため年間を通じて研修を行い、能力の向上に努めている。

リ. 教員の能力開発のための研修などが行われているか

年間を通じての自己啓発や、外部企業等と連携して研修を行っている。

＜研修実績の紹介及び委員の意見＞

教職員の研修において、自衛隊として協力支援できることがある。自衛隊では災害派遣の経験から防災に関して講話が可能である。また、学生指導の方法やモ

	<p>モチベーション向上に関する講話も可能である。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学生指導をさらに効果的に高めるために、学生へのメンタルケアに関しての対応はどのようにしているのか。</p> <p>【回答】教職員は、学生と日頃からコミュニケーションを多くとっている。また、一定の学生としかコミュニケーションをとらないことが無いようコミュニケーションチェックシートを使用し、学生全員との会話を心掛けている。クラス担任だけがクラスの学生をケアするというのではなく、全職員が全学年のクラスをケアするという共通認識を保持している。</p> <p>(2) 職場環境をさらに良くするために、教職員のモチベーション低下を防ぐ対策はしているのか。</p> <p>【回答】教職員は、日頃から職員同士交流を持ち、お互いに意思疎通を深めている。担当学生以外であっても職員間で相互協力し、学園の目標を達成できるように日々業務に携わっている。今後さらなるモチベーションアップを図るために、上司との面談を一定期間ごとに実施することやモチベーション研修を取り入れることを検討したい。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>官公庁等への就職が厳しいと言われている中でも就職実績を上げている。各担任及び就職指導担当職員と連携して就職活動に取り組んでいることによる。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>綿密なカリキュラム編成とゼミ学習を通じた授業運営により、公務員採用試験において高い合格実績を上げている。</p> <p><法律学科 資格取得・就職実績の紹介に対する委員の意見></p> <p>法律学科において、毎年多くの上中級試験の合格者を輩出している実績が評価に値する。今後も多くの合格者を継続して輩出していただきたい。上級職希望の学生を増やすためにも、高校生や高校の先生に対する一層の情報提供があればよい。</p> <p><法律ビジネス学科 資格取得・就職実績の紹介に対する委員の意見></p> <p>法律ビジネス学科において、漢字能力検定・ビジネス能力検定（B検）ジョブパスなどを取り入れている点は評価できる。しかし、実務上必ず有用となるパソコン使用の基本スキル（Excel・Word）等の充実をさらに図ってほしい。</p> <p><法律社会学科 資格取得・就職実績の紹介に対する委員の意見></p> <p>公安職希望の学生でも行政サービスを提供するという仕事であることを忘れ</p>

	<p>ないようにするために、職業研究や自治体研究を通して、職業理解を深める講義をさらに増やしてほしい。また、現職公務員の方の職場説明を聞くことで、就職前と就職後の学生の認識の乖離を防いだほうが良い。</p> <p><行政学科 資格取得・就職実績の紹介に対する委員の意見></p> <p>短期間で多くの学生の公務員就職を達成しているのは素晴らしいことだ。合格すればよいというわけではなく、職場において活躍するためにビジネスマナーやパソコンスキルの向上も図ってもらいたい。</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>一人も退学者を出さず入学全員の卒業させることが最終目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っている。欠席した学生には担任が電話することで長期の欠席にならないようにしている。さらにコミュニケーションチェックシートを導入し、職員と学生とのコミュニケーションの有無を可視化している。従来通り、学生相談室も設置しており、担任以外にも相談できるようにしている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 退学率の低減を図るための対策は、どのように変化したか。</p> <p>【回答】欠席した学生には担任が電話することで長期欠席にならないようにしている。また、学生相談室を設置することで、担任以外の教職員に相談できる体制をとっている。今日、経済的理由や特に精神的理由で退学する学生が増えてきているので、職員一丸となって学生のケアに努めている。</p> <p>(2) 就職率の向上と合わせて就職後の離職を防ぐために取り組んでいることはあるか。</p> <p>【回答】就職してから実務上で苦労しないように、PCスキルのさらなる向上を図るカリキュラムの導入を検討したい。</p> <p>(3) 就職率・資格取得率は昨今のコロナ禍による影響は受けなかったか。</p> <p>【回答】例年と遜色のない結果を維持することができている。オンライン授業は昨年、一昨年と比べ活用の機会は少なくなったが、LMS(学習管理システム)は継続活用している。また、説明会や面接はオンラインで行われる官庁も増えているため、その対策として対面だけでなく Zoom を使って面接練習を行うなどの対策を行っている。</p>
<p>基準 5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>公務員就職希望者には、クラス担任が公務員採用試験の出願、受験、面接対策などの指導及び相談を行っている。また、官公庁の人事担当者を招き官公庁説明会を実施している。民間企業就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招いての学内就職セミナーを実施している。</p>

ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか

学生のような悩みに関する相談はまずクラス担任が受けるが、担任に話しにくい事柄もあり、その時は学生相談室が設けているので、学生は相談室の担当者に相談する体制を整えている。

ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

経済的側面に対する支援のため、特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けている。これらの制度はすべて貸与でなく給付となっている。

ニ. 学生の健康を担う管理体制はあるか

学生の健康管理のため、学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施しており、指定病院が学生の健康相談などに応じている。

ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか

課外活動として、クラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動があり、それらは学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。

ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか

学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。

ト. 保護者と適切に連携しているか

学生への適切な指導を図るため、保護者に対して出席状況、成績表、学生相談室・就職相談室のお知らせ等を年に4回送付している。保護者とまた、必要に応じて保護者と面談を行っている。

チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか

「高校生の就職を応援します」と銘打ち、無料で教師対象就職・公務員試験指導者セミナー、高校生対象公務員講座などを開催し、多くの教師及び高校生に参加してもらっている。

以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。

(1) 学生の課外活動に関して、特別クラスなど講義・演習が多い学科は課外活動（クラブ活動など）が制限されるのではないかと。学校・教職員としてどのような取り組みをしているか。

【回答】特別クラスの学生がクラブ活動等で授業を欠席する場合は、放課後等を利用し再講義・演習を実施して、学生が不利益を被ることはないように対処してい

	<p>る。</p> <p>(2) 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業訓練の取り組みにおいて高校生への無料セミナー等を実施している点は評価できる。一方で、大学生や大学既卒者に対しての無料セミナーや支援はしているのか。</p> <p>【回答】現時点では実施していない。今後検討課題とする。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、演習室、教務室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っており、学生に教育上支障がないように整備している。また、無料Wi-Fiを整備しており、コロナ禍におけるオンライン授業にも対応できるようにしている。</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 防災意識をさらに高めるための職員・学生の研修は実施しているのか。</p> <p>【回答】自衛隊広報官の方の協力を得て、ハザードマップを利用した防災指導を実際に行ってもらおう予定である。</p> <p>(2) 防災体制を強化するために、具体的な対策は実施しているのか。</p> <p>【回答】各フロアに防災マップを掲示し、防災意識の強化を図っている。また、今後は学生が災害時に実際帰宅可能かどうか等を精査していく。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>公務員採用試験合格においては、信憑性を確保するために、本人の了承を得て合格者情報にイニシャル・出身校名を載せている。これは入学者に対するアンケートの中で、本学の卒業生の活躍が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ていることから、志望者や保護者の判断に役立つものであると考える。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤の問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 少子化が見込まれる昨今において、22歳以上の大学既卒や第二新卒などの若</p>

	<p>年層をターゲットにした募集活動を考えてみてもよいのではないか。</p> <p>【回答】現段階では、諸事情により考えていない。</p> <p>(2) 日曜日のオープンキャンパスでは模擬授業は実施しているが、オープンキャンパス内で実際の授業参加・見学はできないのか。</p> <p>【回答】授業は原則平日に実施しているため、現状では困難である。平日においては、希望者に対して授業見学を実施している。別日程での授業見学も現状では困難であるが検討したい。</p> <p>(3) LINE や Twitter を利用した情報提供は、高校生や学生にはわかりやすい情報提供方法であり、非常に評価できる。</p>
<p>基準 8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>財務全般について少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定めている。予算の編成は適切に手続きを経た上で確定し、予算を執行している。</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>会計監査については、監事 2 名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>私立学校法第 47 条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 財政基盤の安定化を図るために、予算の編成及び執行が適正な手続きで行われていることは評価できる。</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され指示される学校づくり」を基本目標に、毎年愛知県民生活部県民総務課人権推進室より講師を招いて人権研修を実施し、教職員に受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に派遣し、その結果を受けて資料を全職員に配布している。法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し施行している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p>

	<p>個人情報に取り扱いに関し、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託者に取り扱わせる際には、個人情報保護に関する内容を文書化している。学生の個人情報については、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 自己評価の実施と問題点の改善に関して、今後も改善に努めていただきたい。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ロ. 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の歩道清掃をしており、その清掃活動は近隣からも評価を得ている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) どのような形でボランティアの奨励、支援を行っているか。 【回答】 担任・教職員が学生にボランティア活動を推奨するという形にとどまっている。今後は希望者を、マラソン大会のボランティアなど、地域イベントに参加させることを検討する。</p> <p>(2) 地域貢献という点で、学生のボランティア活動以外にも行っていることはあるか。 【回答】 公務員講座、高校の教職員向けの指導者セミナーなどを無料で定期的に行っている。</p>

〔総括的な意見〕

「学生から信頼され支持される学校づくり」という学園の基本目標を達成するため、教職員が一丸となって学校運営がされており、その成果として就職や資格取得で実績が出ている。これからも継続して取り組んでほしい。今後は、学生が卒業後も社会で活躍できるような人材育成にさらに傾注してほしい。